

元気いっぱい都城をPR

平成27年度の都城観光レディが決定し、4月14日に市長を表敬訪問しました。今年度は柳田美波さん（太郎坊町）、櫻川内優奈さん（太郎坊町）、櫻木彩さん（曾於市）の3人が就任。3人は今後1年間、祭りやイベントなどに出演して、本市の魅力を広くPRしていきます。柳田さんは「多くの人に、明るく元気に都城の魅力を伝えたい」、荒川内さんは「肉や焼酎など、都城の美味しい特産物をPRしたい」、櫻木さんは「我慢強い性格を生かしてがんばります。都城のことをたくさん学びたい」と抱負を語りました。



都城観光レディ就任のあいさつ

伝統的工芸品への興味沸く

本場大島紬手織り体験が4月18日、市内の工房で開催されました。国の伝統的工芸品に興味を持ってもらおうと、都城絹織物事業協同組合が開催し、市内外から9人が参加。参加者らは、織り機の扱い方や糸の通し方などの説明を受け、それぞれ好きな色糸で紬を織っていました。山崎順子さん（高崎町大牟田）は「初めは思った通りに織ることができず、手間取ったが、回数を重ねていくうちに織れるようになった。機会があったらまたチャレンジして、思い通りの柄を織ってみたい」と、伝統的工芸品への興味を深めていました。



本場大島紬手織り体験

楽しみながら科学を学ぶ

物づくりを通して子どもたちの想像力を育成する物づくり体験教室が4月19日、カンガエールプラザで開催されました。市内などから小学生30人が参加。LEDを点滅させる電気回路の作成では、ハンダ付けなどに悪戦苦闘しながらも根気良く組み上げ、明かりがつくと声を上げて喜んでいました。



荘内町合併50周年

半世紀の歴史を振り返る

旧荘内町と都城市の合併50周年を記念し、庄内地区まちづくり協議会と西岳地区まちづくり協議会が共同で4月4日、祝賀会を開催しました。地元住民ら約410人が参加。庄内に伝わる南洲太鼓や、菓子野町の小学生ら13人が千草奴踊を披露し、式典に花を添えていました。



物づくり体験

満開のあやめを堪能

祝吉地区まちづくり協議会が主催する早水あやめまつりが4月29日、早水公園多目的広場で開催されました。約42万本のあやめが咲き誇る中、多くの家族連れらが来場。ステージでは地元の小中学生による演奏や、アヤメ音頭総踊りなどが披露され、来場者らは祭りを楽しんでいました。



早水あやめまつり

都城を攻め落とすのは誰だ？

武将になつて城攻めを体験する催しが4月26日、都城歴史資料館周辺で開催されました。現在の歴史資料館付近にあり、一度も攻め落とされることがなかった山城「都城」の築城から640年を記念した企画に、小学生ら54人が参加。参加者らは手作りのよろいを身に着け、昔の城門跡から出発。途中、弓矢を体験したり、敵に扮したスタッフの紙つぶての奇襲を防いだりしながら城に攻め上がりました。鮫島咲翔くん（高崎小5年）は「チャンバラや弓矢など、普段できないことができて楽しかった」と息を弾ませていました。



いざ！春の陣～武将になって城跡探検～

地域貢献活動を学ぶ

市役所新規採用職員の消防団入団研修辞令交付式が5月1日、市役所で行われました。市が新たに組み込む研修で、新規採用職員20人が2年間、地域の消防団員として活動。研修期間中は、防災要員としての基礎研修や災害対応活動の実践研修、防災士の資格取得など地域の防災力の要としての活動を行いながら、安全・安心なまちづくりのための災害対応能力を学びます。高城分団第3部に配属された皆元和己さん（福祉課）は「この研修を通して、少しでも地域に貢献できるようがんばりたい」と意気込みを話していました。



新規採用職員消防団入団研修辞令交付式

夢に向かってチャレンジ

商業サービス業系の新規創業者を育成するチャレンジショップのオープンイベントが5月3日、同施設内で開催されました。会場内には、4店舗のオープンを祝おうと多くの家族連れらが来場。来場者らは、ショップオーナーから店舗説明や商品説明を聞いたり、サービスを体験したりしていました。



笛水ウオーク

地域を挙げたおもてなし

自然や地元住民との触れ合いを楽しむ笛水ウオークが4月29日、高崎町笛水地区で開催されました。市内外から31人が参加。新緑まぶしい林道などを散策して初夏の里山を楽しんだ後、地域の人たちが作ったそばやがねなどが振る舞われると、参加者らは満足そうに舌鼓を打っていました。



チャレンジショップオープン

金御岳に願いの鐘の音響く

金御岳公園に新たな観光の目玉をつくらうと、中郷地域経済活性化対策協議会による天の金山の鐘の除幕式が5月10日、同公園内サシバ館周辺で開催されました。同協議会の原口善一会長は「地域の宝でもある金御岳の魅力を高めるために設置した。たくさんの方に知ってほしい」と話していました。



天の金山の鐘除幕式

人馬一体
春の到来を告げる
伝統芸能の継承者



下長飯ジャンカン馬踊^{んまおどり}
保存会会長

相葉 雄三さん

五 穀豊穰と無病息災を祈念して、毎年稲作の農作業が始まる春先に奉納されるジャンカン馬踊。都城地方や鹿児島県始良郡一帯に昔から伝わるこの民俗芸能を、今日に伝える下長飯ジャンカン馬踊保存会の会長を務めるのが、相葉雄三さん（下長飯町・74歳）です。

近所の農家が馬を飼っていたこともあり、馬に触れる機会に恵まれていた相葉さんは、誰に勧められるともなく、自然と地元の保存会の活動に参加しました。

米俵を背負い花などを飾りつけた鈴掛け馬が、唄い手や三味線、太鼓の軽快なリズムに合わせて、上下に頭を振りながら足踏みをするジャンカン馬踊。「馬は敏感にいろいろなことを感じ取り、会場が盛り上がって手拍子が起こると気分良く踊る。観客も一緒に人馬一体となって踊れるときが楽しい」と目を細める相葉さん。

現在保存会では相葉さんをはじめ、馬の引き手や三味線、太鼓、踊り手など35人が活動しています。地域の人たちに支えられながら、地元の公民館で練習に励んでいて、市内の祭りやイベントで披露しています。

その他にも、老人ホームや地元小学校の運動会、上棟式や結婚式などの慶事でも披露するなど、地



域に根ざした活動を幅広く行っている同保存会。鹿児島神宮（霧島市）で開催される初午祭にも毎年参加していて、ジャンカン馬踊を見に遠方から訪れるファンもいるほどです。「皆さんの喜ぶ顔が活動の励みになる」と力を込めて話す相葉さん。

保存会のメンバーのほとんどが60歳を超えて、後継者不足が同会の課題。「活動を続けることでジャンカン馬踊の魅力を伝え、郷土に息づく民俗芸能を若い世代にも引き継いでいきたい」と今後の意気込みを話していました。

霧島 環探訪



環霧島探訪では、霧島山を取り巻く宮崎、鹿児島両県の5市2町の情報を紹介しています。今回は、曾於市の「フォレストアドベンチャー・おおすみ」を紹介します。

自然豊かな森の中で大冒険

皆さんは、自然の樹木や地形をそのまま生かした、フランス発祥の体験型アトラクション「フォレストアドベンチャー・アウトドアパーク」を知っていますか。

大自然の中につくられた施設では、木の上で作られた足場まで登り、ロープや滑車を使って木から木へ移動するなど、大人から子どもまで夢中になって楽しむことができます。

九州では、福岡県糸島市と鹿児島県曾於市の2カ所にしかなく、いずれの施設も利用者から好評を得ています。

フォレストアドベンチャー！ おおすみ

この施設の建設には、本場フランスの設計者が携わり、厳しいとされるヨーロッパの安全基準をクリア。「登る・渡る・滑る」動作を基本に、体を動かす工夫が施されています。小学1年生から利用することができ、低難易度のコースでは、家族一緒に楽しむことができます。

フォレストアドベンチャー・アウトドアパークの最大の特徴は「自分の身の安全は自分で守る」こと。子どもの自立心を育む上でも最良の施設です。家族一緒に自然の中で本物の冒険を体験してみませんか。



● **営業時間** 9時～17時

● **所在地** 曾於市大隅町岩川6048-1
※「道の駅」おおすみ弥五郎伝説の里南側

● **利用料金** 小学生～17歳 2,500円

18歳以上 3,000円

◎問い合わせ 曾於市企画課 ☎76-8802

盆地 元気

盆地生まれの 元気をいただきます！

魚のジャガ芋焼き

※1人分174kcal、塩分1.1g

1日の野菜摂取量は350g

ジャガ芋は、ビタミンB群やビタミンC、ミネラルが豊富。ジャガ芋に含まれるビタミンCは熱に強いので、煮たり焼いたりしても壊れにくく、効率良く摂取することができます。

材料（4人分）

魚…60g（4枚） ジャガ芋…200g 塩…小 1/3
 サラダ油…小1 バター…小2
 A【塩…小 1/3 こしょう…少々】
 B【小麦粉…小2 カレー粉…小1】
 付け合わせ…レタス、ミニトマト、レモン

●下準備

魚…Aを両面に振り、しばらく置く。水分をふき、Bを合わせたものをまぶす
 ジャガ芋…千切りにして塩を振り、しんなりしたら水気を切る

●作り方

①フライパンを熱し、サラダ油とバターを入れて4等分にしたジャガ芋を置く。その上に魚を置いて、ジャガ芋に少し焦げ目が付くまで焼く。裏返した後、ふたをして中まで火を通し、皿に盛り付ける。好みで、レタスやミニトマト、レモンを添える



カレー風味なので、魚が苦手な人でも食べられます。魚の代わりに、ジャガ芋の上にチーズを乗せて焼くと、おつまみとして楽しめます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765